

## 本をいただきました

愛媛県立図書館長 藤田 聡司

平成20年3月15日をもって創業130周年を迎える伊予銀行様から、その記念事業の一環として、この度、約3000冊の図書を御寄贈いただきました（贈呈式は平成19年11月21日に挙行）。その内訳は、行員の皆様が所蔵されていた図書が約2600冊、小・中学生の調べ学習用に新しく購入した図書が約400冊。小学生から高齢者まで、広く県民の皆様の利用に供し、有効に活用したいと思っております。



伊予銀行様から寄贈図書の目録を贈呈される藤田館長（左） 図書贈呈式 県立図書館にて

行員の皆様が所蔵されていた図書は、話題の新書本、ベストセラー小説、実用書などを中心に様々な本がありました。当館の一般貸し出し用の図書として活用させていただくのはもちろんですが、それ以外にも町立図書館や公民館図書室、県立高校図書室、県立病院待合室に配本し、利用してもらうことにしております。

また、小・中学生の調べ学習のための図書については、県下の小・中学校に「学習支援セット」として貸し出し、役立ててもらいます。当館では、今年度から、学校支援サービスの一つとして「学習支援セット」の貸し出しを始めています。これは、教科や総合的な学習の時間における調べ学習

などの資料として、環境、福祉、食育、人権など10のテーマごとの図書のセットを、小学校中学年、小学校高学年、中学校別につくり、貸し出すものです。この度の御寄贈により、申し込みの殺到していたテーマの本を増やすとともに、いのち、災害、俳句、愛媛県など新たに七つのテーマを加えることができました。一層充実しましたので、どしどし御利用ください。

### 【学習支援セット】

...さらに充実させたもの

新しいテーマのセット

	テーマ
1	環境
2	国際理解
3	戦争と平和
4	人権
5	健康
6	こころ
7	食育
8	福祉
9	職業
10	ことば

	テーマ
11	いのち
12	災害
13	昔の暮らし 今の暮らし
14	伝統芸能
15	世界遺産
16	俳句
17	愛媛県

詳しくは、県立図書館のホームページを御覧ください

現在、財政の逼迫のため、公共図書館や学校図書館では、図書資料購入費を十分に確保することが難しくなっております。このようなときに、たくさんの図書を御寄贈いただき、大変ありがたく思っております。

# キーワードは「連携」

子ども読書係は、新設から3年目を迎えました。今年はおはなし会などのイベントにも多くの方に参加していただき、利用者の皆さんの中に「県立図書館の存在」が定着しつつあることを実感した1年でした。

子ども読書係は、図書館の中で活動するだけではなく、積極的に県内各地に出かけて行き、子どもの読書活動推進のための普及に取り組んでいます。活動を進めるに当たって、たくさんの方々にご協力をいただき、心から感謝しています。

私たちの活動を支えてくれる大きな力、それは「連携」です。このキーワードの下、今年度進めてきた活動をご紹介します。

## キーワード 「学校との連携」 学習支援セット

巻頭言にて館長がご紹介していますように、「学習支援セット」の運用を6月から始めました。これは、小・中学校の調べ学習などにおいて、よくテーマとなる「国際理解」「環境」「福祉」等の関連図書をセットにして貸し出しするものです。以前よりたくさんの方からご要望が寄せられており、「早急に対応しなければ」と準備を進め、ようやく運用にこぎつけました。このセットは、運用開始当初から大変好評で、貸出希望が殺到しました。仕方なく貸出期間の調整をさせていただくなど、大変ご迷惑をおかけしました。しかし、この11月、伊予銀行から多数の図書をご寄贈いただいたおかげで、新たなテーマによるセットを増やすことができました。今後より一層、総合学習や教科学習のお役に立てれば幸いです。

## キーワード 「専門家との連携」 ブックトーク&エコ・トーク ブックトーク&メディカルトーク

子ども読書係では、16年度から県内の小学校に伺い、ブックトークを開催してきましたが、今年度は、ブックトークとともにエコ・トークを県内の小・中学校6校で実施しました。

エコ・トークとは、環境問題について専門家の方にお話しいただき、本を通して、また、環境を守るための活動をされている方々の声を通して、子どもたちに環境について考えてもらおうとするものです。今回のエコ・トークは、県の環境政策課にご協力をいただき、愛媛県地球温暖化防止活動推進員、愛媛県資源循環優良事業所の方々をお願いして、子どもたちに分かりやすくお話しをしていただきました。



愛媛県地球温暖化防止活動推進員 相原俊雄さんのエコ・トーク



（株）佐川印刷 山崎勉さんのエコ・トークでは、エコカルタもしました。

メディカルトークは、17年度に初めて開催したところ大きな反響があり、以来継続中です。今年度も県立医療技術大学看護学科の先生方のご協力で、高等学校4校で実施します。

子どもたちの読書離れを心配する声が増え、ますます高まる中、愛媛県では「愛媛県子ども読書活動推進計画」を策定しています（平成16年3月）。「読書環境の整備」と「子どもに対する働きかけ」が、この計画の大きな柱です。

県立図書館では、この計画を受けて、読書環境の整備のための「学習支援セットの貸し出し」や、子どもに対する働きかけのための「ブックトークの普及」などに努めてきました。

## キーワード 「図書館との連携」 愛媛県内子どもの読書関係イベントカレンダー

県立図書館をはじめ県内の公立図書館では、親子で楽しめるおはなし会や教室などの様々なイベントを、工夫を凝らして開催しています。ところが残念なことに、図書館をあまり利用されない方は「えー、図書館でこんなことやってるの?!」とご存知ないことが多いのです。

そこで県立図書館では、ホームページの子ども関係のページを一新し、県内公共図書館等主催の子ども向け行事の情報が一目で分かる「イベントカレンダー」を新たに掲載しました。まだご覧になっていない方は、ぜひチェックして、子どもさんと一緒にお近くの図書館をのぞいてみてください。

## 連携で増やそう！本が好きなえひめの子

子ども読書係の大きな役割の一つに、図書館内外における、子どもの読書活動推進のための事業の実践があります。係が新設された17年度から様々な事業に取り組んできましたが、その中で私たちは「県立図書館の事業がひとり歩きすることなく地域に役立つものにしなければならない」と心がけてきました。そのためには「学校や公民館などでは、子どもの読書推進のために、どのような活動が実施されているのか、また、何が不足しているのか」といった現状をまず知り、それらに基づいて事業を実施することが大切であると実感するようになりました。

そこで、平成18年度文部科学省「子どもの読書活動推進に関する調査研究」事業の委嘱を受け、県内の子どもの読書活動推進状況に関する調査を、「連携で増やそう！本が好きなえひめの子」推進実行委員会により実施しました。

### 1 調査の内容

#### (1) 調査項目

読書環境の整備の状況

読書活動推進の状況

連携・協力の状況

#### (2) 調査対象

学校（小・中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援その他の学校）

保育所（園）、幼稚園

公立図書館

公民館

その他の団体・施設等（保健センター、児童館、PTA連合会、その他関連施設、小児科のある病院等）

調査対象の総数1,737のうち1,090の学校・施設等から回答をいただきました（回答率62.8%）。

### 2 調査結果の概要

ここでは、「読書活動推進の状況」及び「連携・協力の状況」についてご紹介します。

#### (1) 読書活動推進の状況

〔学校での取り組み〕読書活動推進に取り組んでいる学校は、小学校では92.1%、それ以外の学校でも70%を超える状況でした。特に、「一斉読書」「教科学習等における図書や図書室（館）の活用」「読書記録」「多読賞」等は、多くの学校で実践されていることが分かりました。

〔読み聞かせ〕小学校では全体の95.5%の学校が実施しています。また、保育所（園）では95.3%、幼稚園では96.2%となっています。こ

れらに比べて中学校では15.7%、高等学校では8.3%にとどまっています。これを見ると、確かに実施校は少ないものの、中・高校生においても読み聞かせの効果を認識して、朝の読書などの時間に取り組んでいる学校があることも見逃せません。

読み聞かせ等によるおはなし会については、図書館のうち88.2%が実施しています。また、公民館、児童館、各地域の文化センターなど、さらには、保健センターでの健診時や小児科病院などでも実施されており、現在では、様々な施設で、いろいろな形で、おはなし会が開催されるようになっていることが分かりました。

#### (2) 連携・協力の状況

本調査では、子どもの読書活動推進のための行事や活動において、他の施設やボランティアとの連携・協力はどうか、その状況を把握することにも努めました。

〔連携・協力の実施〕「連携・協力している」と回答した学校・施設等は、小学校が全体の78.7%、中学校では34.7%、高等学校36.7%、保育所（園）48.7%、幼稚園69.1%、図書館91.2%となっています。

連携・協力した活動の内容については、「読み聞かせやおはなし会の実施」が最も多く、次いで「図書室（館）の運営や整備に関する用務」となっています。連携・協力の相手先としては、PTA・保護者、地域住民、ボランティア、そして、公立図書館を、多数の学校や幼稚園が挙げています。

〔連携・協力の必要性〕学校、保育所（園）、幼稚園、図書館、その他の団体・施設等、それぞれの約80%が「連携・協力が必要である」と回答しました。その有効な相手先としては、公立図書館、PTA・保護者や地域住民、ボランティアが、順に挙げられています。

### 3 調査結果を受けて

本調査によって、学校、幼稚園等で実施している活動について、その多様な内容を知ることができました。明確になったことは、「連携・協力」についての意識が非常に高いことです。特に、公立図書館への期待が予想以上に大きいことを認識しました。今後、この結果を県立図書館の活動の指針とし、皆さんのお役に立てる図書館として成長していきたいと思えます。

なお、この調査報告書の詳細につきましては、県立図書館ホームページ「子どもの読書活動推進」のページでご覧いただくことができます。

（子ども読書係 吉見 八重、東 智子）

# 「ビジネス情報支援サービス」のこの一年

平成 18 年 3 月 10 日より開始した愛媛県立図書館のビジネス情報支援サービスも「2 年目」が終わろうとしています。今年度に県立図書館を会場として開催したイベントを振り返ってみたいと思います。

## ビジネス支援セミナー（5月22日）

電気通信大学客員教授の竹内利明先生を講師にお招きして、ビジネス支援セミナー「図書館が四国を救う!?! ~ 自治体の商工部門と図書館の連携による地域経済活性化を考える」を開催しました。当日は県内外から 65 名の方々にご参加いただきました。参加者の方々に記入していただいたアンケートでは「図書館の“位置付け”について新たな可能性を感じた」「図書館に対する価値観が変わった」という評価をいただいた一方で、「もっと市民、県民にPRすべき」「他の機関との連携を強化すべき」といったご指摘もいただきました。県立図書館としてもビジネス情報支援サービスの今後の展開を考える上でのヒントを得ることができたセミナーでした。なお、竹内先生のご講演の要旨は当館報「らいぶらりえひめ」第 222 号に掲載しておりますので、ご参照ください。

## 若松 進一氏 講演会（8月12日）



県立図書館 視聴覚ホールにて

NPO法人 Eyes 主催の「えひめ仕掛け人を巡る Tour」の一環として開催しました。県内外の若者を中心に 32 名の方々が参加されました。夕日をテーマに旧双海町（現伊予市）を観光地として有名にした若松進一氏が、これまでいかに考え行動してきたかを熱く、ユーモアを交えて語ってくださいました。当日は若松さんが書かれた本や記事が掲載された雑誌を会場に展示し、その資料のリストとインターネット上の情報をまとめたプリントを配布しましたが、それを目にされた若松さんにも非常に喜んでいただき、ご自身のブログに「これこそ新しい時代に対応した図書館のあり方だ」と取り上げてくださいました。

## 創業塾（9月16日）

松山商工会議所主催で全 5 回のうちの 1 回を県立図書館で開催しました（参加者 16 名）。当日は「創業シミュレーション」として店舗型企業を事例とした創業手順や、商圈分析について学ぶ日だったのですが、県立図書館の司書も「ビジネスヒントは図書館でGET!」と題して、県立図書館を利用した情報の集め方について講義を行いました。また、商圈分析に使える図書館の資料を紹介し、その他の創業に役立つ資料と一緒に会場に展示しました。講義の後、早速利用登録をして必要な資料を借り出しされた方もいらっしゃいました。アンケートによると今回の受講生の方は「県立図書館をこれまで全く利用したことがない」あるいは「利用したことはあるが最近では利用していない」という方が大部分で、これをきっかけに県立図書館を活用していただきたいと思えます。

## ビジネスなんでも無料相談会（1月～3月）

新しい取り組みとして、1月から3月までの毎月第3日曜日（計3回）「ビジネスなんでも無料相談会」を開催します（中小企業診断協会愛媛県支部、県立図書館主催、松山商工会議所共催）。会場は県立図書館2階・視聴覚ホールです。この相談会は起業や経営の様々な悩みについて、経営指導のプロである中小企業診断士が相談に応じるもので、県立図書館の司書も同席し、相談内容に関連する情報を図書館の資料等で提供いたします。アイデアをどのような形にするか、事業計画の立て方、資金調達の方法等、ビジネスのことなら何でも相談できます。初歩的な相談から応じますので、お気軽にお申し込みください。

これからの相談日は2月17日、3月16日の午後0時30分～5時30分（一人1時間以内、予約制）。県内公共図書館で配布または県立図書館ホームページに掲載している所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、お申し込みください。

今後もビジネス支援関連の専門機関と連携して様々なイベントを展開していきたいと考えておりますので、是非ご参加ください。

（ビジネス情報支援サービス担当 天野 奈緒也）